

「エシカル甲子園2023」開催報告について

消費者庁新未来創造戦略本部 金石瑞季（かねいし・みずき）

2023年12月26日、エシカル甲子園2023（主催：徳島県教育委員会・徳島県、後援：消費者庁ほか）の本選が、会場の徳島グランヴィリオホテル及びオンラインにてハイブリッド開催され、高校生が自ら考え実践したエシカル消費の取組を披露した。

エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことを言う。商品を購入する際、例えば、より環境への負担の低い商品や適正な価格で取引されたフェアトレード商品、障がいがある人の支援につながる商品を選択することなどが身近なエシカル消費に当たる。自分本位の消費からエシカル消費へ、私たち消費者一人ひとりが日々の行動を変えていくことが、持続可能な社会の実現へとつながる。

エシカル甲子園は、高校生がエシカル消費の推進や実践に係る日頃の取組やその成果、今後の展望について発表を行い、その中から特に優れたものを表彰する行事で、2019年の第1回大会から毎年徳島県で開催されている。第5回の記念大会となったエシカル甲子園2023では、33都道府県

から84校の応募があり、その中から予選審査を通過した8校が、本選でプレゼンテーションを行った。審査の結果、優勝校に選ばれた麗澤高等学校（千葉県）には「内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞」、準優勝校に選ばれた宮城県農業高等学校（宮城県）には「消費者庁長官賞」が贈られた。麗澤高等学校は、企業や他校とも連携したフェアトレードコーヒーの普及や、フェアトレードに福祉の視点も加えた「ウエルフェアトレード」の活動が、準優勝校の宮城県農業高等学校は、地元の宮城杉を原料にしたバイオ炭の開発や、全国の高校では初となるJクレジット取得の活動が評価された。

また、今年は4年ぶりに新型コロナウイルス感染症による制限のない開催となり、各地域の次点校7校もポスター発表で来場参加したり、エシカル消費に関する物販が行われたりと、大いに賑わった。高校生の取組は、各校の独自の強みや地域の特長を活かしながら、高校生ならではの柔軟な発想力と行動力で社会的課題に挑戦するもので、大人も驚くような素晴らしいものばかりだった。さらに、学校内にとどまらず、地域住民や

自治体、事業者を巻き込んで活動がなされており、まさに今年のテーマである「みんなで考えるエシカル消費」にふさわしい大会であった。

今大会は本選連続出場校も目立った一方で、8校のうち半数の4校が初出場だった。高校生にエシカル消費の取組が継続・定着していることをうれしく思うとともに、その裾野の広がりが感じられる大会でもあった。この大会をきっかけとして、高校生をはじめとした若い世代を中心としたエシカル消費に関する積極的な取組がより一層拡大していくことを期待したい。

なお、消費者庁では、エシカル甲子園の後押しのおかげに、学校現場等で分りやすく学ぶことができる学習教材の作成・提供や、個人や企業・団体のエシカル消費につな

がる取組を紹介するエシカル消費特設サイトの運営等、エシカル消費を推進するための取組を行っている。

このような取組を通じて、より多くの消費者の皆様の間でエシカル消費が実践され、より良い社会やより良い未来の創造につながっていくことを願いたい。



令和5年12月26日エシカル甲子園2023

エシカル甲子園2023のページ（徳島県ウェブサイト）
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokat/kyoiku/gakkokyoiku/7216267/>
エシカル消費の学習教材の公表ページ
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/
エシカル消費特設サイト
<https://www.ethical.caa.go.jp/>